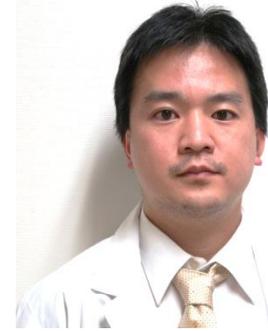




～新任のごあいさつ～

せんだ けんさく
脳神経外科 千田 賢作



平成29年4月から若草第一病院 脳卒中センターに勤務しています千田賢作です。私は兵庫医科大学医学部卒業後、県立西宮病院で初期研修と脳外科として後期研修で勤務した後、大阪大学医学部附属病院を経て、大阪府で脳神経外科医として、脳卒中や脳腫瘍や頭部外傷に携わってきました。特に、脳卒中に関心を持ち取り組んできました。

脳卒中はいくつか種類がありますが、大きくは脳の血管がつまる「脳梗塞」と脳の血管が破れて出血する「脳出血」や「くも膜下出血」に分けられます。脳卒中の患者数は現在150万人といわれ、毎年25万人以上が新たに発症していると推測されており、脳卒中は、がん・心臓病に次いで日本における死亡第3位となっています。高齢者の激増や、糖尿病、高脂血症などの生活習慣病の増加により、脳卒中の患者は2020年には300万人を超すことが予想されており、寝たきりになる原因の3割近くが脳卒中などの脳血管疾患と言われております。

そのため脳卒中になったり、脳卒中を疑う状態になれば、たとえ夜中であろうと、休日であろうと、すぐに救急車を呼んで、専門医のいる病院へ搬送してもらうことが大切です。一過性脳虚血発作を経験した方、家族に脳卒中経験者がいる方、高血圧、糖尿病、高脂血症、心房細動、喫煙習慣、多量飲酒習慣のある方は、いざという時にどこの病院に行ったらよいのか、日ごろから考えておくことが重要です。また、脳卒中になってしまった後も、入院した病院に通院が必要になりますので、かかりつけ医と相談されることも大切です。

また、発症後1年以内に約2割の方が亡くなりますが、生き延びた方の約7割は自分の身の回りのことができるようになります。そのため、より良い脳卒中の急性期治療を受けた後にリハビリを行うことが大切です。

当院ではこれらの治療に積極的に取り組んでおり、24時間体制で脳外科医が在籍しております。私としては微力ながらこれまでの経験を活かして、地域の先生方と連携をとり、地域住民の方々に満足してもらえるよう外来・救急医療ともに提供できるよう努力致しますので、よろしくご挨拶申し上げます。